



YAMANOTE ROVERS JOURNAL No.1

—山手地区ローバーの設立1周年を迎えて—

山手地区ローバーは山手地区の有志のローバースカウトが集い、日々ローバーリングについて思索を深め、スカウティング活動をしている組織です。

山手地区ローバーには以下の3つの目的があります。

1. ベーデン・パウエル卿の目指すローバーリングの実現
2. 所属する団及び原隊での活動、指導の場への還元
3. 山手地区のスカウティングの活性化

山手地区ローバーは奉仕の精神を元に、地区行事の企画・運営を積極的に行なっていきます。今後の活動としては、地区キャンポリー、目黒区ラリー、グリーンバーキャンプなど地区行事の奉仕活動、ローバー活動としては、被災地の支援、富士清掃登山、海外派遣や100kmハイクなどがあります。その他、ボーイスカウトの醍醐味であるハイキング、キャンプ実施の計画もあります。今年は山手地区ローバーの発展をスローガンとして掲げ、活動を軌道に乗せ、活性化していく予定です。地区の同年代との仲間意識を深め、技術の向上や情報交換を通し、積極的に地区に貢献していくこと。個人では出来ないことを皆で協力し実施していくこと。より良き社会人を目指すこと。これらを達成するための高度な活動をしていきます。



2012年7月29日
発行：山手地区ローバー





— 地区委員長の言葉 —

「地区ローバー結成1周年に寄せて」

地区委員長 松尾史生

三指

地区ローバー1周年おめでとうございます。ローバー世代の内外環境からすれば、本活動に敬服いたします。さて、皆様に激励の言葉をさしあげる前に微力だった松尾のローバー時代を参考のために振りかえらせてください。1970年代前半は正に大学ローバー全盛期で、私の所属団（東京37団・現大田3団）も指導者不足から早稲田・慶應ローバーの応援の下、多くの薫陶を受けました。その中でやはり100kmハイクには地域ローバーとして同期らと共に賞品狙いで（10位以内）がんばりました。結果3年連続完歩というローバー（さまよえる人）にとっての将来を見据える経験をさせていただき、さまよい過ぎて議員秘書（軍縮研究室）⇒製薬会社社員という人生になっています。自らのBS環境（若手リーダー、ローバーがたくさんいた）と大きく変わった現況下、ローバー活動に関わる意識も違うと思いますが、変わらないのは熱意と交流ではないかと思えます。BS運動に関わったという共通の土俵の中で

- 1、自己の確立
- 2、国際性と日本の良さ再発見
- 3、地区RS活動を自団発展のために！

以上、3つのkey wordで皆さん頑張ってください。地区としてもBS以外の就活等にも積極的かつ個人的に支援を出来る限りしていくつもりです。
弥栄

— 地区コミッショナーの言葉 —

「山手地区ローバーへの想い」

地区コミッショナー 山口 美紀

三指

地区ローバー1周年おめでとうございます。本来ならば、気のきいた言葉を送るのですが、これからの地区ローバーへの想いを込めて、本音の言葉を送ります。

皆さんはローバースカウトとしての活動、隊指導者としての活動、そして国際活動。いくつもの顔を持ち、数えきれない様々な経験ができるワクワクドキドキ年代です。正直、うらやましいです。この限りない可能性を秘めたローバー年代をとことん楽しんでください。

ローバースカウトは、キラキラと輝くダイヤモンドの原石です。そして山手地区や自団の発展に欠かせない存在です。しかし、原石を輝かせるには相当の時間も手間もかかります。是非、新しいことへのチャレンジを忘れず、仲間と喜びを分かち合い、そして助け合い、自らを磨き上げキラキラ輝いてほしいと願っています。

そんなダイヤモンドの原石のような皆さんのよき理解者であり応援団長でありたいと、今までもそしてこれからも心の中で強く想っています。そしていずれ、皆さんがボーイスカウトを担う輝かしい姿が見られることを楽しみにしています。

弥栄





— 代表の言葉 —

目黒3団 早矢仕晃章

切磋琢磨し己の力を最大に発揮する、スカウティングの楽しさを知っている、ボーイスカウト運動を盛り上げようと意欲もっている。参加する全員が、ローバーリングはスカウティングの原動力であることを知っている。山手地区ローバーはそのようなスカウティングに熱いメンバーの集まりです。

山手地区ローバー設立から1年が経ちました。地区ローバー立ち上げのきっかけは、日本連盟のバングラデシュ派遣への参加です。日本中から集まったメンバーで、チームを作り、プロジェクトを企画から運営、実行を行う中で、チームが一致団結し、一つのことを成し遂げることの大切さを知ったのです。また、スカウト精神を共有していることの素晴らしさを再確認しました。そして、ローバー年代が集まればこんなにワクワクした活動ができるということを学びました。僕はこのスカウト精神を共有し、共に学び共に活動する環境を山手地区でも実現したいと考えたのです。そして、山手地区ローバーはこの想いを同じくする仲間たちとともに誕生しました。

B-Pの言葉に「自分のカヌーは自分で漕げ」というものがあります。自分のカヌーを自分で漕ぐのは当たり前。我々はその一歩先を目指します。誰かが困っていれば手を差し伸べ、時には誰かのカヌーを皆で漕ぎ、地区ローバーという大きな船を、皆で進めていきたいと考えています。

山手地区ローバーでは、日々ローバーリングの在り方について模索し、皆が持っている知識・スキルを共有し、自団や原隊の活動を盛り上げ、地区全体のスカウティングの活性化を目指しています。

これからも応援よろしくお願いします。





YAMANOTE ROVERS JOURNAL

一副代表の言葉

渋谷6団 佐藤直紀

大学の先輩で早矢仕RSから「地区のローバーの活動をしないか?」と誘われてこの活動に携わるようになってから早くも1年が過ぎました。それまで、RSとしての活動は15NJに行ったぐらいで、それ以外に特に何もすることがないままスカウト時代が終わってしまうのかな…と薄々感じているときでした。しかし、このように山手地区ローバーとしての活動を始めてからは非常に充実したスカウト活動ができています。よい仲間にも出会え、今までここまでボーイスカウトに情熱を注ぎこんだことはなかったなど。

さて、これからも山手地区ローバーとしての活動が続いていくわけですが、これからも色々VSまででは出来なかったような活動を続々と企画していきたいと思っています。もし、こんなことがやりたいというのがあれば教えてください。地区ローバーで是非実現させましょう!!皆さんと一緒にスカウト生活の最後を充実したものにしていきましょう!!





YAMANOTE ROVERS JOURNAL

目黒10団 林希一

私は、山手地区ローバー発足以来この活動に携わってきました。今までの活動では、普段自らの生活では、できない活動に参加させてもらい貴重な経験をさせて頂きました。特に、宮城県亘理町の被災地支援に参加したときは、さまざまなことが印象に残りました。テレビでは、被災地の状態がよくなっているように見えたが、いざ現状をも見るといまだにがれきの山だらけの場所があったりして、被災地の現実を学ぶことができました。

これからは、メンバーと共により切磋琢磨しながら、今まで以上により楽しめる行事を企画し、充実した活動をしたいです。



目黒10団 高橋早英

現在、地区ローバーの最年少で参加させていただいています。これからも少しの時間を見つけてこの活動に携わっていきたいと考えています。16NJ、23WSJと来年から大きな行事があります。これらの行事に、山手地区として活動がしたいと考えています。よろしくお願いします。

目黒15団 平本琢也

ボーイスカウト活動に携わってから早15年経ちました。元々は親に薦められて始めた活動でしたが、今ではとても大切でかけがえのないものになりました。同年代で同じような経験をしてきた人たちの集まりであるこの山手地区ローバーの活動は自分にとってとても有意義なものになっています。ローバーはまだ1年目ですが時間の許す限り、積極的に参加していきたいと思っています。





YAMANOTE ROVERS JOURNAL



目黒15団 五十嵐美貴

学校ではない。習い事でもない。バイトでもない。すでに自分の生活の一部であるボーイスカウトで出会った仲間、友情というものは何にも変えられない大切なものである。

何があっても崩れない、一緒に頑張れる仲間は他にはいない。そんな風に思えたこのボーイスカウトで出会えた仲間たちと残るスカウト生活で何ができるか、そんなことを思っている人は一人ではなかった。みんな彷徨える羊なのだ。そんな残す大切な時間をより他者のために、感謝している人のために、もちろん自分のために1人よりみんなの力を合わせればより大きな経験を得ることができると思ったのだ。

渋谷7団(國學院RS) 温水基輝

僕の前隊は、愛知の西尾5団です。愛知でスカウト活動をしてきました。お察しの通り、もともと山手地区とは何の関わりもない、外部の人間です。なぜ、山手地区に顔を出すようになったのか。それは15NJまで遡ります。15NJでは奉仕隊として参加しました。そこには渋谷6団の佐藤RSがいました。また、國學院RS隊の当時の主将にも会いました。その2つの出会いから山手地区に関わるようになりました。

正直、それだけでは外部の人間がここまで関わろうとは思いません。僕は思います、山手地区は本当に楽しい。ただ、楽しいだけでなく、自分自身の成長を感じることができる場でもあると思います。関わることができて、本当に良かったです。

願ひて思います。出会いとは本当に不思議なものです。人生を変える出来事とは、何でもないところにあるとも感じました。ちょうど、その機会は君たちの目の前に開かれています。僕から言えることはそれだけです。



他のメンバーも続々と更新します！





YAMANOTE ROVERS JOURNAL

若木祭(國學院学祭)

山手地区ローバーでは、11月4日～6日の3日間で國學院大学にて、イカ焼きを売った。イカ焼きは、他の店舗にない商品の影響もあり、大勢のお客さんが来店し、大賑わいだった。来年も前年以上に盛り上がる企画をしたいと思う。

100Kmハイク

11月17～18日の2日間で100Kmハイクに参加した。この中で渋谷6団佐藤RSが、ただ1人大雨の中、完歩した。



ロッククライミング、ボルダリング

横浜にあるクライミングジムにて、クライミングを楽しんだ。今後も地区ローバーでこのような活動を行なっていきたい。



バングラディッシュの派遣

2012年2月20日から3月5日の期間に平成23年度アジア太平洋提携プロジェクト(バングラディッシュ)派遣が行われた。当派遣には山手地区から、私、温水RSと早矢仕RSの二人が参加した。「最貧国」に行く事は、私にとって初めての経験である。「バングラディッシュ」と聞き、何を思い浮かぶだろうか、私は汚い・治安が悪い・貧しいなどのマイナス・イメージを抱いていた。ゴミ・治安の悪さなど、バングラディッシュの抱えている問題は確かに多い。だが、バングラディッシュという国はそれだけではない。現地に行くことによって、それが分かった。皆、笑顔で活気にあふれており、そこには「最貧国」から受けるイメージとは程遠かった。実際に自分の目で見るという行為はとても大切だと学んだ。「実践躬行」、それはすばらしい言葉だ。

このような機会は見識を広げるチャンスであると思う。ので、みんなもぜひぜひ参加してほしいと思う。





YAMANOTE ROVERS JOURNAL

被災地支援

2011年3月11日の東日本大震災が起こり、今回はじめて被災地に足を運んだ。早矢仕RS、林RS、温水RSが参加した。今回訪れたのは、亘理町の仮設住宅だ。当日、縁日を行い、老若男女を問わずたくさんの方が訪れた。焼きそばや焼き芋は大盛況で、開始1時間程度でなくなってしまふほどであった。また、ポップコーン・ブースにも長蛇の列ができ、並んでいる間に近隣の方々と交流することができた。



ミーティング

昨年、6月に山手地区ローバーが発足して以来、定期的にミーティングを行っている。最近は、2週間に1度、皆で朝食をとりながら、にぎやかなミーティングを行っている。



新規メンバー募集!!

山手地区ローバーでは新規メンバーを募集しています。経験やスキルは問いません。やる気さえあれば問題ありません。一緒にローバーの活動を盛り上げていきましょう!!楽しいイベントも色々企画していくのでぜひ参加してください!!

